

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

糖尿病患者による口腔内状況の自己評価とHbA1cへの影響についての検討

2. 研究の対象患者

2014年11月から2017年2月の期間における、当院入院の糖尿病患者で、糖尿病教室で歯科衛生士による「歯周病の予防」の講義を受講し、質問紙に回答した患者さん

3. 研究の対象期間

2014年11月1日～2017年2月28日

4. 研究の概要

当院の糖尿病教室では、医師、看護師をはじめ多職種が糖尿病教室で講義を行っている。そのひとつに歯科衛生士による「歯周病の予防」の講義がある。これまで歯周病と糖尿病の関連については様々な報告がされている。糖尿病患者は非糖尿病患者に比べ歯周病発症率が高いことや、糖尿病教育入院患者の歯周病罹患状態との関係や、糖尿病合併症との関係などが報告されているが、疫学研究のための調査であり、糖尿病教室から実際に歯科治療へつなげているのか、またそのシステムを活用して実際の口腔状態とHbA1cを比較したという報告はほとんど見られない。当院でも歯科治療の必要性を感じているものの、糖尿病教室受講後に口腔内評価や歯科治療を開始することがなかなかできていない現状があった。そこで、質問紙を用いて糖尿病教室受講時に糖尿病患者の口腔内状況を把握することで、その回答から歯周病の治療の必要があると判断された場合には歯科治療へつなげるためのシステムを作った。あくまで糖尿病教室から歯科治療へつなげるための一つの判断材料として活用する目的のための作成であり、当初は研究目的で作成した質問紙ではないが、今回、質問紙の回答から糖尿病教室を受講した糖尿病患者の口腔内状態の自己評価と、実際の口腔内状態との正誤、それによる血糖への影響を検討したいと考えた。

5. 研究実施予定期間

2018年1月17日～2018年5月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：研究対象者背景：性別、年齢、最終観察日、BMI、歯科受診の有無と歯科治療内容

口腔内の自己評価である質問紙の回答状況（全8項目：①歯磨き時の出血、②動揺歯、③口腔乾燥、④口臭、⑤歯周病治療の希望、⑥喫煙、⑦義歯、⑧かかりつけ歯科、それぞれの有無について質問）

口腔内評価：ポケット値、歯の動揺度

血液生化学検査：教室受診時のHbA1c、教室受診後約1年後のHbA1c

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者： 歯科口腔外科 醍醐 未来
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)